

中国山地たたらサミット

きつとなにかが見えてくる!!!



平成24年12月9日(日)
鳥取県日南町総合文化センター
(日野郡日南町霞785)
※当日は、生山駅~会場間でマイク回バス送迎を行います。

午前の部 <午後の部に先かけて開催>
◆一般の方にも入場頂けます。
**中国山地
たたらネットワーク会議**
●さつきホール 10:00~12:00
~各地からたたら研究・顕彰活動の報告~
穴栗鉄を保存する会(兵庫県)、備中国新見庄たたら伝承会(岡山県)、太田川アクティブアーチ(広島県)、鉄の道文化圏推進協議会(鳥根県)
※とめ/野原 建一氏

同時開催 とっとり発掘物語展
●期間/ 11月10日(土)~12月9日(日)
●会場/ 日南町美術館(期間中は無料)
◆第1展示室「鳥取県の製鉄遺跡」
・大山町の「下市築地/ 峯東通第2遺跡」(平安時代)
・日南町「帝国製鉄砥波工場」(近代)
◆第2展示室「鳥取県の各時代の遺跡」
◆講演会
日時/ 12月8日(土) 13:30~14:30
会場/ 2F 多目的ホール
演題/ 「古代・伯耆の製鉄遺跡」
講師/ 坂本 嘉和氏
(鳥取県埋蔵文化財センター文化財主事)
主催/ 鳥取県埋蔵文化財センター
共催/ 日南町教育委員会

午後の部
**中国山地
たたらシンポジウム**
●さつきホール 13:00~16:50
◆ミニレクチャー~◆ドラマリーディング
◆記念講演
講師/ 西村幸夫氏(東京大学副学長、工学博士)
テーマ/ 産業遺産としての「たたら」をどう生かすか

in 奥日野
◆パネルディスカッション
テーマ/
「たたら」の価値とその利活用を考える
コーディネーター/ 渡辺一正氏
パネリスト/ 西村幸夫氏、
島津邦弘氏、野原建一氏、
穴澤義功氏、増原聡氏
※各県代表のコメントーターの
皆さんにも議論に参加して頂きます。

**中国山地の
たたら・パネル展**
●2F 多目的ホール 9:00~16:50
各県の参加団体の取り組みをパネルで紹介しします。



主催/ 伯耆国たたら顕彰会
共催/ 中国山地たたらサミット実行委員会
協賛/ 穴栗鉄を保存する会(兵庫県)、備中国新見庄たたら伝承会(岡山県)、太田川アクティブアーチ(広島県)、鉄の道文化圏推進協議会(鳥根県)、NPO市民文化財ネットワーク鳥取後援/ 鳥取県、鳥取県教育委員会、日南町、日南町教育委員会、日野町、日野町教育委員会、江府町、江府町教育委員会、安来市、安来市教育委員会、雲南市、雲南市教育委員会、奥出雲町、奥出雲町教育委員会、穴栗市、穴栗市教育委員会、新見市、新見市教育委員会、安芸太田町、安芸太田町教育委員会、一般社団法人日本鉄鋼連盟、公益財団法人JFE21世紀財団、たたら研究会、安来商工会議所、鳥取県西部西商工会産業支援センター、日南町商工会、日野町商工会、江府町商工会、伯耆町商工会、大宮まちづくり協議会、里山元気塾、二部地区活性化推進機構、新日本海新聞社、山陰中央新報社、朝日新聞鳥取支局、毎日新聞鳥取支局、読売新聞米子支局、日本経済新聞鳥取支局、中国新聞鳥取支局、共同通信社鳥取支局、時事通信社米子支局、NHK鳥取放送局、日本海テレビ、山陰中央テレビ、BSS山陰放送、(株)中海テレビ放送、エフエム山陰(順不同)

中国山地たたらサミット in 奥日野

平成24年12月9日(日)

鳥取県日南町総合文化センター
(日野郡日南町霞785)

総合
テーマ

「中国山地一円のたたら製鉄遺構の現状と未来」
～「たたら製鉄」の未知なる領域をめざして～

【開催趣旨】

我が国独自の製鉄法「たたら」は5～6世紀に始まり、中世以降、原料となる優れた砂鉄を産したことでその主生産地となった中国山地。現在、その各所において「たたら製鉄」の歴史を見直し、再評価する取り組みがさまざまな形で行われており、この度初めて、各々の歴史や活動事例を一元的に論じ合うこととなりました。各専門分野の先生方からご意見を頂きながら、学術的にもたたらに関するもっとダイナミックな知識体系を構築し、また「たたら遺産」の利活用などについても、もう1ランク上のステージに立つ契機として、関係団体いづれにとっても、また全国のたたら研究者にとっても大いに意義あることと考えます。多くの皆様のご来場をお待ちしています。

【中国山地 各地の紹介】

出雲◆鉄の道文化圏推進協議会(鳥根県)



歴史ある有数のたたら生産地で、奥出雲町の日刀保たたらでは伝統の技術が今日に伝えられ、またこの度大規模な修復が施される雲南市吉田町の菅谷たたら山内や、田部家をはじめとする3大鉄山師の住居も往時のままの姿で残されている。こうした遺産に加え、安来市の和綱博物館をはじめとした文化施設も多数抱え、また今年度は東京で「たたらシンポジウム」を開催するなど、安来市・雲南市・奥出雲町の2市1町で、官民一体となった取り組みが進められている。

播磨◆宍粟鉄を保存する会(兵庫県)



「播磨国志相郡岩嶺なる桂の木に高天が原より、ひとはしらの神天降り座すあり」として、金屋子神が降臨し、日本で初めて製鉄が行われた地とされる宍粟市。木炭の火で砂鉄を溶かす古来製鉄技術の記録が風土記にも記され、今も階段状に石垣が連なる天児屋鉄山跡を残す。模型や図表でたたらを紹介する「たたら」の里学習館もあり、保存する会では十数年前から中学生を対象にミニたたらを実施し、活動を受け継ぐ若手も育っている。

備中◆備中国新見庄たたら伝承会(岡山県)



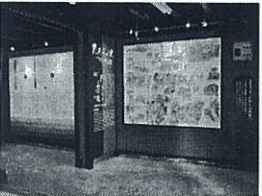
国宝「東寺百合文書」の中に年貢として、鉄を納めていたという記録がある新見庄。たたら伝承会の活動は平成5年、(社)新見青年会議所の記念事業がきっかけで、自分たちでたたら操業をし、できた鉄によって燭台を造り、東寺に奉納することを計画。当初より日刀保たたらの木原村下の指導を得て、現在では吹き差しふいごを駆動させての「中世だたら」を再現。新見市教育委員会主催で毎年開催される、たたら学習「中世だたら操業」を全面的に担っている。

安芸◆太田川アクティブアーチ(広島県)



寛永年間に創始された加計隔屋鉄山。嘉永6年(1853年)に製鉄業が盛況となるまでの約200年の間に隔屋が採掘した鉄山は25に上り、鉄穴流しが現広島市市街地のデルタを形成したとも言われる。この6月には町教育委員会などと連携し、実行委員会を立ち上げ、30年ぶりに、「たたら製鉄」の作業工程などを描いた広島県的重要文化財「紙本著色隔屋鉄山絵巻」の公開にこぎつけ、紙芝居を使ったたたら学習、また「鉄を感じる陶芸体験&紙芝居&森林セラピー」や「台倉体験民泊」などに取り組んでいる。

伯耆◆伯耆国たたら顕彰会(鳥取県)



4年前の「たたら」をテーマとした日野町・日南町商工会の事業で、近藤家の古文書を研究してこられた影山猛先生のご指導の下、平成21年、ガイド施設として「たたら」の染校・根雨茶舎と大宮茶舎をオープン。往時の奥日野をリアルに想像してもらおうと、小説「ATARA」を出版したところ大きな反響を得た。ここ3年ほど製鉄遺跡の踏査を行い、また講演会やフォーラムなどを開催し、観光バスターを企画するなど民間を主としてソフト事業に取り組んでいる。

【講師・パネリスト等のプロフィール】

講師/ 西村 幸夫氏



1952年、福岡生まれ。東京大学都市工学科卒、同大学院修了。明治大学助手、東京大学助教授を経て、1996年より東京大学教授、2011年より東京大学副学長。この間MIT客員研究員、コロンビア大学客員研究員、フランス国立社会科学高等研究院客員教授などを歴任。専門は都市計画、都市保全計画、都市景観計画など。工学博士。主な著書に「西村幸夫 風景論ノート」(鹿島出版会、平成20年)、「都市保全計画」(東大出版会、平成16年)、「まちの見方・調べ方」(朝倉書店、平成22年、編著書)などがある。日本イコモス国内委員会委員長、国土交通省国土審議会委員、文化庁文化審議会委員、同世界文化遺産・無形文化遺産部会長、日本ユネスコ国内委員会、同ユネスコ記憶遺産事業選考委員会委員などをつとめる。



コーディネーター/ 渡辺 一正氏

工学博士、NPO市民文化財ネットワーク鳥取 理事長。1967年に早稲田大学理工学部建築学科を卒業し、1971年、東京大学大学院工学系研究科修了。2001年まで建設省建築研究所・施工技術研究室研究員～第四研究部長等歴任。その後2011年まで鳥取環境大学教授。その間、木造建築研究フォーラム理事(1987年～2001年)、2002年には「市民文化財ネットワーク鳥取」を設立して会長に就き、2004年NPOに改組して理事長を務める。2000年にはフランス国家功労オフィシエ勲章叙勲。若狭鉄道、転法輪寺などの調査を実施し、国登録有形文化財とするための所見を執筆。



パネリスト/ 野原 建一氏

広島県立大学 名誉教授。広島県自治体の各種審議会委員 地域づくり・男女共同参画の活動に携わる。地域産業の歴史と中山間地域の中小企業と経済活性化についてを研究テーマとし、日本経営史、産業史、中小企業論、中山間地域の経済活性化を専門分野とする。そのスタンスに立って全国の「たたら製鉄」を調査・研究している。



パネリスト/ 島津 邦弘氏

元中国新聞解説委員、元比治山大学教授、NPO法人中国山地やまなみ大学副学長。著書に「新中国山地」「山陽・山陰 鉄学の旅」ほか、近著に「山里からの伝言—中国山地2010～2012」がある。中国山地の南麓に育ち、激変する農山村を記録し続ける。「たたら」文化の重要性に着目し、その実相を追い続けている。



パネリスト/ 穴澤 義功氏

製鉄遺跡研究会代表、広島大学を拠点とするたたら研究会全国委員で、日本鉄鋼協会・鉄の技術フォーラムの企画も担当。学生の頃から「鉄の考古学」の途に入り、製鉄遺構調査を行うために全国各地を巡る。学生時代には既に日野郡を訪れており、当地の事情にも明るい。



パネリスト/ 増原 聡氏

神奈川大学法学部法律学科を卒業後、1979年、日南町役場入り。税務、農林、企画課などを経て2004年に総務課長。在職中には、米国スコッパレー市との姉妹都市提携、県境サミット事務局、町内情報通信網(ケーブルテレビ施設)整備などを手がける。2010年2月、町長選挙で初当選。町民と行政がともに知恵を出し合い、一緒に夢と希望を持って未来を切り拓いていけるよう、「主役はあなた、町政は道しるべ」を合い言葉に、日南町政の舵取りを担っている。

当日は生山駅と会場間でマイクロバス送迎を行います。

●生山駅発 / 8:10 8:50 10:15 10:40
●会場発 / 16:40 16:55 17:30 17:45



7日・8日宿泊と9日昼食のご利用について

宿泊…1泊2食 @7,300円(税込)
昼食…弁当(お茶付) @800円
弁当の受渡場所と時間→
「日南町総合文化センター」
玄関スペースにて、11時30分～

主催者推薦利用機関名:
「ふるさと日南邑ファームイン」
〒689-5662
鳥取県日野郡日南町戸上2962-1
TEL.(0859)83-1188
FAX.(0859)83-0779

●電話又はファックスで直接日南邑にお申込みください。料金のお支払いは事前に送金していただくこととし、恐れ入りますが振込手数料はご負担下さい。振り込み口座はお申し込みの際、お知らせ致します。